



# 富士章受章スカウトの皆さん おめでとうございます



## CONTENTS

富士章受章スカウト県知事表敬訪問	2	いつも元気だっ! ビーバーだより	10
富士章受章スカウトのことば	3	カブつうしん	10
海外派遣報告会	4	ボーイ通信	11
三保の松原の補殖活動	5	指導者だより	12
東部ブロック団委員長・団委員セミナー開催!	6	世界とつながるボーイスカウト	14
お別れ くまさん	7	おめでとう13名の友情章	14
代々木NYCへ行ってきたよ!!	8	マスコミコーナー	15
若き指導者《第1回》	9	おしらせコーナー	16
		・定時総会及び各研修のご案内	

**告知!**

**令和元年度 ボーイスカウト定時総会 開催**

日時：令和元年5月18日(土) 会場：静岡県静岡市 清水テルサホール

平成 31 年 4 月

**第 155 号**

## 平成30年度 富士章受章スカウト県知事表敬訪問 2019年3月27日(水) 静岡県庁特別会議室にて



知事、スカウトへ思いを語る



知事室にて歓談



受章記念盾の授与



スカウト代表挨拶

平成30年度の富士章受章スカウトの県知事表敬訪問が行われました。受章スカウト11名のうち7名と村松理事長ほか県連役員が出席しました。

受章スカウト代表として三島第3団の鎌田晃成さんが川勝県知事に「富士スカウトを受賞できたのは、共に活動が続けてきた仲間がいたから。他のスカウトの支えになれるよう活動を受け、社会に貢献していきたいです」と喜びと将来への決意を伝えました。この後、静岡県連盟の連盟長でもある川勝県知事から受章記念の盾がスカウト一人一人に手渡され、出席者全員の記念撮影が行われました。

また22日(金) 27県連盟より47名のスカウト(静岡県連より2名)が、東宮御所へ表敬訪問。皇太子殿下

がスカウトたちをご接見されました。及び27日(水)には20県連盟より47名のスカウト(静岡県連より3名)が文部科学省と首相官邸へ表敬訪問。文部科学省では柴山文部科学大臣から、首相官邸では西村内閣官房副長官より安倍内閣総理大臣からの激励のお言葉をいただき、代表スカウトが今後のさらなる活動への決意の言葉を述べ、弥栄をお贈りしました。

※左と下の写真(3点)の提供:ボーイスカウト日本連盟より



東宮御所へ表敬訪問(静岡県連より2名)



文部科学省と首相官邸へ表敬訪問(静岡県連より3名)



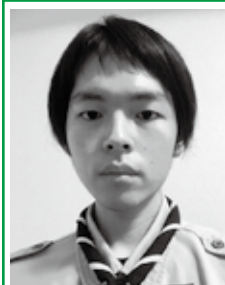
## 平成30年度 富士章受章スカウト 喜びのことば

受章者の皆さんおめでとうございます



**山本 大貴** 静岡地区 静岡第22団

これまで活動を継続出来たのは自分を信じて応援してくれた隊長や仲間、両親のお陰です。これで満足することなく、今後のスカウト活動や自分の人生に生かしていきたいです。



**山田 一帆** 三島地区 三島第3団

一緒に挑戦する仲間たち、お世話になってきた指導者の方々、両親に感謝しきれません。富士スカウトとして恥じない生活をし、社会に貢献できるように頑張りたいです。



**鎌田 晃成** 三島地区 三島第3団

富士章を取得できたのはスカウト活動を認めてくれた家族、支えてくれた隊長や仲間たちがいたお陰です。これからは自らが良い見本となりスカウト活動の素晴らしさを発信できるよう努力していきたいと思っています。



**中野 明香** 焼津地区 焼津第1団

富士章を取得できるまでに育てて下さった隊長方、共に歩んできた仲間感謝申し上げます。次は私が後輩スカウトを支えられる様に頑張っていきます。ほんとうに有難うございました。



**岡野 莉子** 三島地区 三島第3団

富士章を取得することが出来たのは多くの仲間や指導者の支えはもちろんですが自分自身の成長の結果であると思います。皆さんに感謝するとともに更なる成長を目指します。



**安達 佳祐** 掛川袋井地区 掛川第2団

私が富士章を取得できたのは隊長、仲間、家族などの支援のお陰であり、感謝の気持ちでいっぱいです。これからは地域のスカウト活動発展に尽力し、自分自身の成長を続けていきたいと思っています。



**井口 俊亮** 三島地区 三島第5団

苦難にぶつかり一時は取得を諦めようとしたのですが、隊長や親を始め様々な方々の支えのお陰と心より感謝しております。今後はサポートする側にも努めていきたいと思っています。



**松田 玲奈** 浜松地区 浜松第12団

10年前はとても遠い存在に感じていましたが様々な支援を受け取得することが出来ました。これからも初心を忘れずちかきとおきてを心に留め、後輩の良い見本となれるよう努力していきたいです。



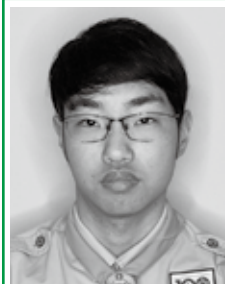
**松浦竹之介** 三島地区 三島第5団

高校2年時に1年間オーストラリア留学に学んだ際、現地のスカウト活動に参加し、州規模のキャンプも体験しました。これは世界に広がっているスカウト活動の偉大さを肌で感じた大きな経験でした。



**岡本 岳** 浜松地区 浜松第14団

大きな目標のひとつであった富士章をすることができて本当に嬉しいです。辛いこともありましたが様々なことを学び、仲間たちと親睦を深めることもでき大変良い経験することが出来たと思います。



**小島正次郎** 三島地区 三島第5団

自分もいつか富士章を掲げられるよう活動してきました。これからは、多くの指導者や仲間の協力を借りてきた感謝の気持ちを返していけるように努力していきたいと思っています。



# 海外派遣報告会

日時: 2019年3月17日(日) 場所: 静岡県青少年会館

3月17日(日)、昨年海外派遣隊の受け入及び交流会を行ったスカウトからの報告会が行われました。

## 【報告テーマと報告者】

### ①「静岡地区—シンガポールスカウトとの交流」について

静岡第27団ベンチャー隊 池谷 紀美 静岡第27団ボーイ隊 神谷 隆葵

### ②「富士地区—ラトビアスカウトとの交流」について

富士第8団ローバー隊 藤島沙公良 富士第10団ローバー隊 宮地 飛鳥

## 【報告内容】

### ①静岡地区—シンガポール隊受入

交流の内容は「たちばな154号」に掲載済み

**池谷紀美:** ホームステイを受け入れたスカウトたちとの交流が楽しかったです。英語は通じなくてもボディランゲージやスマホの翻訳アプリを使って楽しいコミュニケーションをとれました。シンガポールスカウトの帰宅後もアプリやメールなどで連絡を取り合っています。シンガポールスカウトの受け入れを通して、文化の違いを実感すると同時に海外というとても遠くのことを今までより近く感じる事ができました。

**神谷隆葵:** 自分は前回のシンガポールへの派遣にも参加しました。そのときは「異文化を知る」という心持で派遣に参加しましたが、今回静岡に来たスカウトたちは「異文化を取り入れて自分のものにする」という姿勢が見えました。異文化に向き合う姿勢がとても積極的で見習いたいと思いました。自分もまた異文化に触れあう機会があったらそのときは、一歩踏み込んだ積極的な姿勢を見習いたいと思います。



### ②富士地区—ラトビア隊受け入れ

交流の詳細は「たちばな153号」に掲載済み

**藤島&宮地:** 富士地区とラトビアスカウトとの交流は10年を迎え、多くのスカウトが相互に行き来して交流を深めました。ラトビアスカウトが日本に来た当初は緊張してなかなか話したりできなかったが、時間がたつにつれ少しずつ打ち解けあい、言葉が通じなくても身振り手振りでコミュニケーションをとることができ、みんなで交流を深めることができました。今後も多くのスカウトに国際交流に興味をもち世界に羽ばたいてほしいと思います。





# 緑化推進活動 2・23「富士山の日」 三保の松原の捕植活動



## 日本の松原

清水地区 清水第17団 水野 春希

富士山が壮大に見える三保の松原で、もっと壮大に見えるようにするための活動を行いました。

清水地区のスカウトと焼津地区のスカウトで緑化推進活動の一部として三保の松原の捕植活動を行いました。高さ50cmほどの苗木を、植える作業をしました。一つ一つ丁寧な作業をすることで、この世界遺産を未来につなげることができると活動をしながら思いました。これから世の中はもっとグローバルな社会になっていくと思います。まだ三保の松原を見ていない外国の方や、スカウトにも素晴らしいさを知ってもらいたいと思います。

三保の松原を、盛り上げる活動に、スカウトとして参加することができたので私はこのことに誇りを持ち、このような活動に積極的取り組みたいと思いました。

## 三保の松原保全活動に参加して

清水地区コミッショナー 橋本 智弘

三保の松原は霊峰富士を仰ぎ見る松原です。松原は当地区内にあり誇りでもあります。清水地区は富士山の日に合わせて松原の保全活動とし毎年松原の清掃など行っています。かつて6万本とされていた松の数も数年前に清水地区にて調査したところ30,669本と確認され市の公式記録となっています。今年は地元造園会社である平井造園株式会社との合同開催により33本の松の幼木の補植活動をしました。傾斜地で砂交じりの場所や硬い土の場所などスカウト達は穴掘りに苦戦していましたが無事に植える事ができました。松の木が育つには下草を刈る・落ち葉を拾うなど根が呼吸しやすくする必要があるため午後からは松葉拾いを行いました。1時間弱の作業でしたがゴミ袋100袋以上集まりました。スカウトたちが大人になった時、今回補植した松もきっと立派に育ってくれることでしょう。そのためにも定期的な保全活動が必要です。将来10万本を超える時が来ることを期待します。



## 東部ブロック団委員長・団委員セミナー開催！

日時・会場:2月9日(土) 沼津青少年教育センター



会場内



組織拡充広報委員 西尾 崇伸 氏



グループワーキング



発表と分析



組織広報 副委員長  
稲野 吉弘 氏



グループ発表-1



グループ発表-2



グループ発表-3



組織拡充広報 委員長 土山 氏

### 沼駿地区委員長 田村照児

2月9日(土)に沼津青少年教育センターにおいて、講師4名を含め総勢55名の参加をいただき開催されました。

最初に土山組拡・広報委員長より本セミナーの開催経緯、目的について講義をいただき、その中で、非認知能力(IQで測れない心をそだてる)人生の質を向上させるのに重要なスキルという言葉が印象的でした。

次に稲野副委員長より、登録データに基づき色々な視点から現状分析を行い、東部ブロック、また、地区ごとに問題点を洗い出し改善の方向性を示していただきました。

杉山委員からは、広報の役割、特にメディアへの取材依頼、情報提供等の具体的方法について説明をいただきました。引続き西尾委員から、Facebookの利用について主に説明をいただきました。メディアを活用した広報の重要性を改めて認識しました。

次に稲野副委員長より、団委員会活性化の意義と組拡の組織と機能というテーマで講義を受け、その後4グループに分かれ討議を行いました。

各団で何が問題なのか、洗い出しを行い、その中からポイントを絞り込み対策の検討を行いました。各グループとも着眼点は様々でしたが、根底には共通の問題点を抱えているように思いました。ぜひ団に帰り実践していただければと思います。





# お別れ くまさん

## 静岡遊木の森 3月9日・10日



静岡地区 静岡第22団カブ隊隊長

徳澄大輔

カブ隊最後の隊集会は恒例の「くまの追い出し」です。うさぎ&しかスカウトが秘密の組集会で考えたメニューを月の輪キャンプ中のくまスカウトに振る舞います。天候はあいにくの曇り空でしたが自然の中で車座になり、みんなで頂く鶏のオレンジ煮は格別のおいしさでした!

当隊は毎回の活動に自然の中でのゲームを取り入れ、スカウトスキルを養っています。今回も最後はスカウト達が大好きな『ベーコン』で盛り上がりました。デンリーダーさん、保護者のご協力のお陰で充実した1年間でした。カブスカウトはいつも元気!



静岡地区 静岡第22団 カブ隊

鈴木 美菜佳

3月10日、くまさんの追い出しがありました。うさぎやしかスカウトの成長が見られる最後のひとときでした。

静岡22団に入り、早2年7か月。当然最初、組長になった時は驚きが隠せませんでしたが、スカウトを始めとしリーダー達に今までの感謝をここに伝えます。

ボーイでは今までよりもたくさんの経験を、それを生かしたくさんの実績を積んでいきたいと思います。

今まで本当にありがとうございました。

静岡地区 静岡第22団 カブ隊

小森 珠未

私は今日のくまさんの追い出しで、うさぎやしかのスカウトががんばって調理してくれたことを知って、みんながんばったなと思いました。料理は全部おいしかったです。

みんなでやった『ベーコンどろぼう』もすごく楽しかったです。

今日でお別れのスカウトもいて、このメンバーで集まるのも最後だなあとちょっとさみしくなりました。

本当はもう少しカブスカウトでいたい気持ちもあります。でもボーイスカウトでも仲間と協力して活動できるよう、今までの思い出を胸にボーイスカウトへの一步を踏み出して行きたいと思います。

# 代々木NYCへ行ってきたよ!!

清水地区 清水第19団・興津第1団 カブ隊



## 30年度最後の隊集会

清水地区 清水第19団カブ隊

隊長 藤田めぐみ

3月の隊集会は、高速バスを使って東京まで出かけました。月間テーマは「小さな旅人」。

高速バスで清水から新宿へ行き、小田急線を使って代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターへ行きました。ここではセンター棟のレストランでスカウト各自で昼食を取り、敷地内を回りながら55年前の東京オリンピックの選手村の跡地が代々木公園であることなどを副長から聞きました。

事前の組集会では、山手線を使ってどこかの駅前を散策しようと計画を立て、組長二人がサイコロをふり新宿を拠点に出た目の数進んだ駅(町)について調べていました。

代々木から新宿へ一旦戻った後、1組は五反田、2組は新大久保に行き、それぞれ駅前散策をした後で再度新宿で合流し、高速バスで清水まで帰りました。今年度も無事に全てのプログラムが終了し、3名の副長を始め、デンリーダー、プログラム委員、保護者の皆さんに感謝しています。



## 東京へ小旅行

清水地区 興津第1団カブ隊 石川 優

ぼくは国立オリンピックセンターでいろいろな事を学習しました。ボーイスカウトで外国に行く前に泊まる宿、土地の広さ、ほかいろいろふうがされていてとても勉強になりました。新大久保ではパワースポットの神社がありました。とてもきれいな神社でした。

コリアタウンという情報を聞いて韓国の食べ物がたくさんあることに気が付きました。

町の中を歩いていると映画館の屋上の方からゴジラが突き出していることに気がつきびっくりしました。設計した人はなぜあんなに高く大きいゴジラを作れたのかと思いました。ぼくがこの小旅行で一番の思い

出はゴジラのことです。

コリアタウン、国立オリンピックセンター、ゴジラのいた映画館などの経験をいかした行ってみたいと思いました。カブスカウトでの活動の最後を仲間と協力したりなど楽しい最後をすごす事が出来ました。

## 高速バスで東京へ行ってきました

清水地区 清水第19団カブ隊 松岡 響樹

3月10日の隊集会で初めての高速バスで東京に行きました。バスの中にトイレがあったので驚きました。NYCの宿舎が大きくてビックリしました。新宿には隊長が見えなくなるほどたくさんの方がいました。

目黒川が家の近くの川よりきれいでした。人が多い中、組をまとめるのが大変でしたが、たくさん発見があってとても楽しい隊集会になりました。







## 《若き指導者》 第1回



焼津第5団ベンチャー隊

隊長 福田 健一

ボーイスカウトに入ったきっかけは5歳の頃、たまたま団の集合場所の前を通りかかり、たまたまその時の指導者の中に友達のお父さんが居たので「何してんの〜?」と声をかけたことが始まりでした。そのままその隊長と親に許可をもらいハイキングに行きました。スカウト時代はあまり進級に興味がなく、2級スカウト止まりでしたが当時の団委員長と楽しい活動を続けていきたいと思っていたので県外の大学に進学してからもたまたま顔を出しておりました。

大学を卒業、地元へ就職後直ぐにボーイ隊長になりました。手探りでいろいろご迷惑をおかけしましたが団や地区、県連の先輩方に支えて頂き、これまで何とかやっていくことが出来ました。現在ベンチャー隊の指導者という立場ですが、スカウトの溢れるパワーに学ばされることばかりです。むしろ彼らに成長させて貰っております。

これからも彼らと一緒に自分も悩み、達成感のある楽しい活動を続けていきたいと考えています。実際、スカウトやこれからの担う若手にはスカウト活動以外のたくさんのことに触れ、自分の人生を豊かにして欲しいと思います。そしてたくさん失敗して、死ぬほど悩んで魅力ある大人になって欲しいです。

これからも、頑張っているヤツはちゃんと評価される組織を目指し、地区ボーイスカウト活動に関わり続けていきたいと思っています。





## いつも元気だっ! ビーバーだより

### スキー・スケートくんれん

伊東地区 伊東第5団 ビーバー隊 山本 侑吏

ぼくがビーバーの活どうで楽しかったのは、スキースケートくんれんです。さいしょは、ぜんぜんできなかったけど一生けんめいやっていたらうまくすべれるようになったから楽しかったです。



### ビーバーだけのひみつきち

富士宮地区 富士宮第22団 ビーバー隊 木本 なな

今日は楽しみにしていたひみつきち作りでした。森へ行きビーバーだけのひみつきちを作りました。

森へ入るとき、くものすがいっぱいあったので、みんなで木のえだをふりまわしながらすすみました。そして木と木をひもでむすんでそこに大きなシートをかけました。木にひもをむすぶとき、木をいためないよう小さな木を三本はさんであげました。シートを地面にとめるペグをうつとき、ハンマーがとても重かったです。きちのまわりにみんなで行っぱい木のえだをならべてかべを作りました。

それから入口にダンボールをつなげて、トンネルを作りました。せまいトンネルをとおってきちに入るとなんだかわくわくしました。

みんなできちの中でおべんとうやおやつを食べました。たのしくてずっとこの中にいたいと思いました。またみんなで作りたいです。



## カブつうしん CUB SCOUT

### 小りよこうに行きました

伊東地区 伊東第5団 カブ隊 稲葉 早羽

12月23日小りよ行に行きました。

はじめ、けいかくするときは、ていねいにしらべて、ノートにかくことを、くりかえして、やっどだいたいきまりました。出かける日などが、2組とだいたいいっしょになったけど、バスにのる時間が、ちょっとちがったので、ほっとしました。ついに、いく日になったのですごくわくわくしました。

でも、11:15発のバスがなかなかこないで、けっきょく歩きました。雨だったので、すごく大へんでした。しゅぜんじで、お母さんにあげるおみやげを、買いました。帰ったあとに、みせたら、よろこんでいたのでよかったです。わたしは、はじめての小りよこうだったので、すごくドキドキしていました。けれど、とても楽しかったので、また来年も、小りよこうをしたいです。



### スーパーカブ

三島地区 三島第5団 カブ隊 佐野 璃子

私はうさぎの時「スーパーカブ」になりたいと思いました。理由は先ばいスカウトがスーパーカブになっていてすごいと思ったからです。でも しかになるとめんどくさいな思ったりしました。うさぎではチャレンジ章を10個とりました。しかでは11個。くまでは19個。くまの最後の日にフィールドマスターをとり合計41個のチャレンジ章をもらいました。三島5団でスーパーカブになったのは2人しかいなかったけど今年で4人になりました。来年や再来年にはもっとふえてほしいなと思います。協力してくれた母や祖母の



おかげでここまでこれたと思います。私はいろいろなことを調べたり聞いたりしました。隊長や副長 デンリーダーがいつもやさしく教えてくれました。そのおかげで知識がたくさん増えました。私はスーパーカブになれてとてもうれしいです。ボーイスカウトに入って本当によかったです。この気持ちを忘れないで「スーパーカブ」になったことの自覚をもって、一日一日を大切に過ごしていきたいです。



隊長と一緒に

## スーパーカブになって

三島地区 三島第 5 団 カブ隊 井口 詩乃

8月26日私はスーパーカブになりました。

まず、私がスーパーカブを目指した理由は、三島5団は私を入れて4人がなっています。その先ばいたちがスーパーカブをとっていたのを見て、かっこいいなと思ったので、3年弱という短い時間だったけれどもちようせんしました。

私はその40個の中でも一番楽しかったのは、自転車博士です。なぜかというといっしょに行なった仲間と計画し、実行してサイクリングを成功させたからです。楽しかったのとは逆に、大変だったのもありました。それは気象学者や救急博士など毎日続けて行なうことが苦手でした。だけでも毎日つづけて終わった時 そのうれしさを学びました。

最後にスーパーカブになって私はこれからの一歩だと思いました。これから富士章までまだまだいろいろな章がたくさんあります。スーパーカブはカブ隊の最後の章であり、これからのボーイ隊、ベンチャー隊の課目の一歩目だとも私は感じました。



隊長と一緒に

## こども体験フェスティバル

富士地区 富士第 6 団 カブ隊 栗田 穂

11月11日、吉原駅から清水駅まで電車によって静岡こども体験フェスティバルに行きました。カブ隊は清水駅からマリノパークまで隊長が用意してくれた地図と指示書を頼りに組の仲間たちと考えながらハイキングを行いみんなで悩みながらマリノパークを目指しました。ついでからはモンキーブリッジをやってこどもフェスと一緒に開催していた建設まつりの1リットルチャレンジでお水をピットリ容器に1リットル入れることができたのがうれしかったです。

## 初日の出

磐田地区 磐田第 6 団 カブ隊 小泉 早良

私は、カブスカウトの活動を通して、生まれて初めて初日の出を見に行きました。

福田海岸につくと、何か所かで火をともししていました。真っ暗な中、私はボーイスカウト第6団の人達を見つける事が出来ました。

そして、皆で日の出がでて来るのを待ちました。

とても寒かったので、すごく時間が長く感じられました。

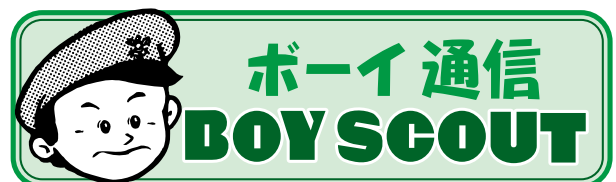
いよいよ、空が明るくなってきました。

海べから、段々と太陽が出てきました。空がオレンジ色に染まり、とてもきれいでした。

今でも、その光景は忘れられません。

その後に、みんなで飲んだココアは格別でした。

一年の始まりが、最高の一日になりました。



## B-P祭を終えて

沼津地区 沼津第 1 団 ボーイ隊 山本 彩花

私は今年やっとボーイ隊に上進しました。なので初めてB-P祭でブースを開きました。

私の担当したブースは、『絶滅危惧種を保護しよう!』というブースです。絶滅危惧種が貼ってあるペットボトルをロープで作った輪で輪投げをするという所です。はじめに来たグループはカブ隊の集まりでした。その子達は、輪

投げは楽しんでくれたものの「これだけ?」という声が口々にささやかれていました。そこでは指導者の方がうまくつけてくださいました。しかし、B-P祭はペーデン・パウエルさんのお祭りなのでもっと楽しんで欲しいと思いました。そこで、私は絵を描くのが好きでお客さんも少なかったので、そこにいる全ての絶滅危惧種を簡単に描きました。自分が保護した動物を絵でもらったら思い出にもなるかもしれないと思ったからです。次に来たスカウトに渡してみるととても盛り上がり、喜んでくれました。私は今回のB-P祭を通して学んだことがあります。それは「人に喜んでもらう為に自分は何か出来るか」ということです。ペーデン・パウエルさんのように人のためにはまだなれないかもしれませんが、しかし、人に喜んでもらうために自分のできることをすれば一歩踏み出せると思います。なので今後も自分が出来ることを考え、実行して行きたいと思います。



## 県連緑化推進事業に参加して

富士地区 富士第6団 ボーイ隊 小林 美遥

1月20日、三島市立箱根の里にて、緑化推進事業が行われました。緑化推進事業では、普段体験することが出来ないことをたくさんさせていただきました。チェーンソーでの伐採見学や立っている木をノコギリで伐採する体験、施設の整備などを行いました。

一番印象に残ったのはノコギリでの伐採体験です。隊の人たちと力を合わせて一本の木をノコギリで切りたおしました。一本切るだけでもとても時間がかかり、間伐作業の大変さを知ることが出来ました。いい経験になったと思います。

係の人の話によると、森林の間伐は木が太く大きく育つために必要なことだそうです。ですが、林業に関わる人たちは、年々減少していて、間伐の進んでいない森林も多くあるそうです。その現状を多くの人々が知ってくると良いと思います。

## 三保で初日の出集会

清水地区 清水第7団 ボーイ隊 栗田 莉駆

僕たち清水第7団は1月1日に三保で初日の出集会をしました。毎年僕たちの団は初日の出集会をしています。朝の海岸はとても寒く、朝早く起きるのも大変ですが、

年始に見る日の出は特別でとてもきれいです。今年の初日の出は平成最期の初日の出ということもあり、思い入れが深い部分がありました。僕は平成生まれなので、一つ時代が進むのだなあと感じ、嬉しいような寂しいような、よくわからない気持ちで初日の出を見ました。

今年の初日の出は、日が出てくるのが例年よりも遅く、待っている時間にはとても強い風が吹いてきてかなり寒かったです。スカウトみんなで早く出てこい!と願っていました。そうしているうちに水平線から日が出てきました。それはとてもきれいな金色で輝いていました。日の出の直後には寒かった天気もだんだん暖かくなってきていました。改めて太陽は人間の生活において重要な役割を果たしているのだと感心するとともに、感謝をしました。また、今年1年もボーイスカウトの活動が安全に楽しく行えるようにお願いをしました。この願いが叶うといいです。



## 指導者だより

### 今年で58年目、わが三島第3団

三島地区 三島第3団 団委員長 藤田 和夫

三島第3団は今年で58年目の団です。市の西、加屋町にある浄土真宗本願寺派、善教寺に属する本派スカウトです。団員は現在103名です。

本年度は、元旦の新年の集いから始まりました。集いには姉妹団のガールスカウト静岡第93団も参加しました。スカウトは、全員男子です。団の指導目標は、上下関係の規律をしっかり身につけさせることです。年間の主な活動は、集会以外にハイキング、スキー、川、海で水泳訓練、キャンプ、ボーイに関しては年間7泊から8泊のキャンプを



実施しています。指導者は、全員自団のスカウト経験者です。今年は、8月4日(日)～7日(水)第7回本願寺派スカウトキャンポリー in箱根の里(7HSC)が開催されます。全国から本派スカウトが集まり、多くの仲間と出会い語り合い交流を深めたいと期待しています。

団委員の高齢化が進んでいますが、自団のスカウト上りの父兄、新団委員2名も加わるので更に強い絆の中で活動を盛り上げて行きたいと思っています。



## スカウトはみんなアーティスト!

浜松地区 浜松第 12 団 ビーバー隊隊長 岡部 武士

隊集会の朝。スカウト達の弾む声と笑顔、そして大輪になり、私の心にスイッチが入る。隊長を拝命して1年半が経つ。副長仲間、団の大きな支援を受けて元気に活動に挑む。活動では毎回、驚かされる。スカウト達の自由な発想、凄い感受性!「普通」を「特別」なものに変える力に感心させられる。まさにスカウト達は『アーティスト!』だ。活動を主とした進歩課題を通じ、より一層の表現力、そして何よりも「感謝」の心を育ていけるように、私自身、スカウト達から学びながら歩幅を合わせ指導者一堂同頑張っていきたい。



## ボーイスカウト活動に参加して

富士宮地区 富士宮第 25 団 ボーイスカウト副長 倉本 明子

富士宮 25 団は、スカウトが全 12 名と少ないので、隊集会を BVS、CS、BS と同じ日に行うことが多くなっています。隊集会はほぼマンツーマンですが、地区の合同集会では大勢の仲間と活動する楽しさも経験しています。私は BS 隊の副長ですが、野外活動の経験があまりないので、リーダーというよりは「近所の大人」くらいのスタンスでスカウト達と一緒に目線で楽しんでいます。私自身、活動を通じて地域のことを知り、知人も出来、今までとは違った世界が広がったように感じています。スカウト達には、自分が家庭や学校だけでなく、社会ともつながっていることを知ってほしいと思っています。活動中の様々な経験が、彼らの視野が広がるきっかけの一つになればと願っています。成長の一端を担ううれしさと共に、責任も感じます。とは言え、あまり気負うことなく、私自身が楽しんでいる姿を見せながら続けていきたいと思っています。

## 救急法講習会に参加して

島田地区 御前崎第 1 団 団委員 大石理絵子

毎年開催されている島田地区の救急法講習会に、今年も参加させて頂きました。

今年の開催場所は、静岡市消防局島田消防署金谷出張所でした。

心肺蘇生法の実習は、グループで交代しながら繰り返し練習をさせて頂きました。

2分間隔で作動する AED のチェックのタイミングがすごく長く感じ、1分間に 100 回位のテンポで強く速く行う胸骨圧迫は大変で、体力の限界を感じながら救命の大切さを学ぶことが出来ました。

現在、救急車要請から現場に到着するまでの時間は、早くても約 9 分はかかるそうです。

私達の住む島田地区は、都市部とは違い山間部や海岸付近も多く、救急車が到着するまでの時間が大幅にかかる場合があります。

私は今まで救命に至る経験はしたことがありませんが、今後いつどこで、どんな状況に出くわすかわかりません。1分1秒で生死を分ける状態に出会った時に、自分がどこまで対応できるか不安を感じますが、講習で学んだ経験を忘れずに落ち着いて出来るようにしたいです。





台中市童軍節慶祝大会で、台中市長蘆秀燕氏から授与



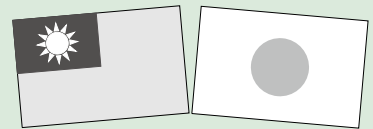
中華民国童軍總會秘書長 蘇徳祥氏に  
受章お礼の表敬訪問

## 世界とつながるボーイスカウト

### 静岡県連盟の村松理事長が 台湾の中華民国童軍總會から、国際友誼章を授与

この度、県連盟の村松理事長が台湾の中華民国童軍總會から、国際友誼章を授与されました。これは、台湾との友好交流に貢献した外国スカウトに贈られる章で、志太地区では、台中市童軍会との長年の交流により、鈴木地区協議会長、川村地区委員長始め、6人目の受章となります。県内では、志太地区が台湾と、静岡地区がシンガポールと、活発に交流をしています。また、今年は第24回世界スカウトジャンボリーがアメリカで開催され静岡県連盟からは47人のスカウト、指導者が参加します。

このように、ボーイスカウトは世界とつながっています。そしてあなたもその仲間です。



## おめでとう!! 13名の仲間が 友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。  
記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

### 平成 31 年3月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充広報委員会

氏名	地区	所属
蟻川ひよ莉	富士地区	富士第14団 B V S 隊
梶岡寛太郎	浜松地区	浜松第12団 B S 隊
池谷咲哉	静岡地区	静岡第27団 B V S 隊
渡井皓士	富士宮地区	富士宮第5団 B V S 隊
大原綜真	浜松地区	浜松第12団 C S 隊
小松大志	富士地区	富士第9団 B V S 隊
大竹瑞希	富士地区	富士第8団 B V S 隊
藤田龍太郎	富士地区	富士第8団 B V S 隊
川合柚菜	富士地区	富士第8団 B V S 隊
遠藤拓磨	沼駿地区	沼津第1団 B S 隊
廣瀬翔太郎	沼駿地区	沼津第4団 C S 隊
伊原涉平	沼駿地区	裾野第4団 B S 隊
八木颯太郎	島田地区	金谷第3団 B V S 隊





# マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。

ボーイスカウト清水地区

**三保松原で松を補植**

ボーイスカウト清水地区は、このほど、23日の「単身の日」に合わせて、静岡市清水区の三保松原で松の保全活動をを行った。

84人が参加し、松が枯れてしまった場所に幼木を植えた。

え付ける補植を行った。参加したボーイスカウトのメンバーは、岡の平井浩雄社員の技術指導を受けながら、丁寧に松を補植。松原の落ち葉給いにも汗を流した。



丁寧に松を補植する参加者＝静岡市清水区の三保松原

◎静岡新聞/平成31年2月26日(火) 朝刊に掲載

**創始者しのぶ B P祭に250人**

伊豆の国でBS三島



◎伊豆日々新聞/平成31年2月25日(月) 朝刊に掲載

**深海魚解剖に挑戦**

清水区 児童ら「うみの環境しらべ隊」



小学生が海洋環境について理解を深める「うみの環境しらべ隊」が、2月23日、静岡市清水区三保の東海大三保研修館で開かれた。ボーイスカウト清水地区に所属する小学生と保護者25人が参加した。

参加者は三保海岸を歩き、ビニールごみなどゴミと海岸に散らばっているゴミを回収した。回収したゴミを、科学的に分析し、その成分を調べる。科学的に分析し、その成分を調べる。科学的に分析し、その成分を調べる。

◎静岡新聞/平成31年1月13日(日) 朝刊に掲載

**ミニキャンプで野外活動体験**

御殿場市のボーイスカウト御殿場第6団はこのほど、子どもたちに野外活動の楽しさを体験してもらおう「ミニキャンプ」を市内で開催した。

園児と児童約30人が参加した。テントの組み立て、豚汁の調理、火おこしなど四つのプログラムを体験した。

ロープワークのコーナーではさまざまな縄の結び方を習った後、爆発物に見立てたペットボトルを縄で運ぶゲームに挑戦。真剣な表情で取り組み、決められた位置まで運び終わると歓声を上げた。



◎静岡新聞/平成31年2月28日(木) 朝刊に掲載

**竹林整備の事例発表**

静岡市で森林整備関係者による事例発表会が開かれた。

静岡市で森林整備関係者による事例発表会が開かれた。静岡市で森林整備関係者による事例発表会が開かれた。静岡市で森林整備関係者による事例発表会が開かれた。



◎静岡新聞/平成31年1月18日(金) 朝刊に掲載

◎富士ニュース/ 昭和21年11月15日 朝刊に掲載

※いろいろな所にボーイスカウトの活動が新聞雑誌、ネットなどに掲載されているのを見つけた方は静岡県連まで御一報ください。

**「トロペー」火の用心お願い**

春季火災予防運動初日

静岡市駿河消防署、署長を委嘱

**J R 駅利用者に呼び掛け**



◎静岡新聞/平成31年3月2日(土) 朝刊に掲載

# おしらせコーナー

## 定時総会及び研修のご案内

### 令和元年度 組織拡充大会、定時総会・表彰式、交換会

- 日 時：令和元年5月18日(土)  
10時30分 組織拡充大会 12時30分 表彰・総会受付開始  
13時00分 表彰式 13時45分 定時総会  
17時00分 交歓会
- 会 場：清水テルサホール 静岡市清水区島崎町223  
\*地区・団の代表者1名は、必ずご出席をお願いします。

### ウッドバッジ研修所スカウトコース 課程別研修(1日型) 静岡第6回

- 月 日：令和元年5月19日(日)
- 場 所：静岡県青少年会館 静岡市葵区田町1丁目70-1
- 申込み：4月27日(土)まで

### 静岡県青少年会館より御礼

この度静岡県より、今後も青少年育成に必要な活動拠点として改めて当財団に継続して貸付されることになりましたことをご報告いたします。これも皆様方の熱い思いとご尽力があったのここと深く感謝申し上げますと共に、引き続き皆様方と手を携えて、未来を築く青少年の育成に邁進してゆく所存です。益々のご指導とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

一般財団法人静岡県青少年会館 理事長

大石 節雄

### 日本ボーイスカウト静岡県連盟 創立100周年記念事業

#### 「静岡スカウト運動100年～」

日本ボーイスカウト静岡県連盟の前身である少年団静岡県連盟が全国に先駆けて結成された大正10年から数えて令和3年(2021年)に創立100周年を迎えます。これまで先人が築き上げたスカウト運動を振り返ると共に更なる発展を図るため、静岡県連盟創立100周年記念事業「静岡スカウト運動100年～」をこの平成31年4月1日から令和4年(2022年)3月31日に掛けて展開致します。詳細につきましては今後の「たちばな」、「県連ホームページ」、「facebook」等にて随時お知らせ致します。

よろしく申し上げます。

### 編 集 日 記

新年度の活動が始まりました。

「たちばな」も前年度以上に充実した内容を目指します。皆様からのご意見・情報及び取材依頼を県連事務所までお寄せ下さいますようお願い致します。

広報「たちばな」編集部 杉山 文朗

広 報 “たちばな” 2019年4月

発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟  
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町1-70-1  
県青少年会館内  
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186  
http://bs-shizuoka.com

編集責任者 組織拡充・広報委員長 土山 惟之

印 刷 三富印刷株式会社  
静岡県浜松市東区上新屋町30-1 TEL053-467-4678

発行部数 4,400部